

# 民生福祉常任委員会記録

平成27年12月16日

【開催日】 平成27年12月16日

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午後1時～午後2時30分

【出席委員】

委員長	下瀬俊夫	副委員長	矢田松夫
委員	石田清廉	委員	岩本信子
委員	小野泰	委員	三浦英統
委員	吉永美子		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

なし

【執行部出席者】

病院事業管理者	河合伸也	病院局事務部長	市村雄二郎
病院局事務部次長兼総務課長	山本敏男	病院局医事課長	岡原一恵
病院局総務課主幹	和氣康隆		

【事務局出席者】

事務局長	古川博三	庶務調査係長	島津克則
------	------	--------	------

【付議事項】

- 1 所管事務調査 病院事業について（病院）
- 2 閉会中の継続調査事項について

1 所管事務調査 病院事業について（病院）

【議事の概要】

- 入院、外来の患者数等の動向について（平成27年8月から10月実績）
- ・各月の入院、外来の1日平均、収益、費用については別紙資料のとおり
  - ・8月、9月の材料費は注射用薬品費が増加した影響で増加
  - ・昨年10月の経費他の金額が多いのは新病院の移転経費資金繰りについて
  - ・8月に企業債を2億6,020万円借入れ、建設費を支払

- ・ 8月に所得税の支払と企業債の償還のため6,000万円一時借入れ
- ・ 人件費として9月に共済組合の追加費用3,068万9,000円を支出
- ・ 9月は給料日以降に診療報酬の入金があったことと企業債と公立病院特例債の償還のため7,000万円を一時借入れ
- ・ 10月は医療機器の購入のため1,900万円と消費税を支払
- ・ 10月に一時借入金を3,000万円返済
- ・ 10月に一般会計から1億2,000万円繰入し、それを原資に11月に一時借入金を1億4,000万円返済

病床稼働率の比較について

- ・ 毎年9、10、11月は患者数が少ない月だが、今年は減少幅が小さい

### 【主な質疑】

吉永美子委員 6月の人件費が多いのはなぜか。

和氣病院局総務課主幹 職員の賞与があるため。

吉永美子委員 職員の人数は足りているか。

河合病院事業管理者 改革プランで定数が決まっているので、それを超えることはできない。看護師は育休、産休で19人休んでいるため厳しいが何とかやっている。

岩本信子委員 27年度の予算と比べて現在の患者数の動向はどうか。

和氣病院局総務課主幹 現状は予算上の患者数には届いていない。

岩本信子委員 予算のとき病床稼働率は85%と言っていなかったか。現状の82.5%を病院局ではどのように考えているか。

河合病院事業管理者 85%にしたいという目標。火、水、木は90%を超えるが週末に退院するため85%は厳しい数字。

岩本信子委員 有料ベッドの稼働率はどうか。

河合病院事業管理者 最近是个室の利用率も上がってきた。

小野泰委員 もっと患者を増やす工夫を考えているか。

河合病院事業管理者 ホームページの充実、FMきららでの宣伝など。経営会議の中に経営戦略室を立ち上げた。経営戦略室で具体的な提案を考え、経営会議でそれを採用するという仕組みになっている。

小野泰委員 議会報告会で市民から、市民病院にバスで行く際のバス運賃の補助ができないかという意見があったが、何か方法はないか。

河合病院事業管理者 投書にもよくある。市全体で考えるべき問題とっているので、他の部署と一緒に検討したいと思っている。

市村病院局事務部長 病院独自で補助するのは厳しいという認識。

小野泰委員 待ち時間はどのくらいが普通だと考えているか。

河合病院事業管理者 できれば待たせることがないのが望ましいと考えている。

待ち時間を解消する努力はしているが難しい。

小野泰委員 検査で待つことが多いので、何か工夫することはできないか。

山本病院局事務部次長 中央処置室は新病院の動線の目玉であり、各診療科で検査していた従来の方法よりは待ち時間の解消につながっていると認識している。待ち時間が減少するよう検討していきたい。

岩本信子委員 外来1日500人目標に対して現状は420人程度だが、500人に対応する体制をどう考えているのか。

河合病院事業管理者 今後検討したい。朝は非常に込むが、昼前になると少なくなってくる。もう少しうまくやらないといけないと思っている。

岩本信子委員 医師数を増やすなど、患者数の目標を達成するような知恵を経営会議で出し合い、話し合ってもらいたい。

河合病院事業管理者 医師を増やすという話は経営会議でも出るが県内に医師がない。若手の医師は都会に出て県内に帰ってこない。大学病院でも研修制度を変えて、大学に残るような仕組みに変えようとしている。医師を増やす努力はしていく。

三浦英統委員 現在の一時借入れの残高は6億円だが、3月末までに幾らにするのか。収支計画書を12月までに作るという話があったがどうなっているか。

和氣病院局総務課主幹 一時借入れはできるだけ少なくしたいと考えている。

また、3月を目途に新しい改革プランを作成中である。

三浦英統委員 12月に新たに一時借入れを行うか。

和氣病院局総務課主幹 12月に職員の賞与のため一時借入れを行った。

市村病院局事務部長 3月には収支計画を示したい。新改革プランも今年度中に作成予定である。

三浦英統委員 退職金の積立はどのように考えているか。

市村病院局事務部長 26年度に会計制度が変更になり引当てはしたが、現金として積立ててはいない。

下瀬俊夫委員長 金額は幾らか。

市村病院局事務部長 約12億円。

岩本信子委員 一時借入れの限度額は7億円だがそれを超えることはないか。

和氣病院局総務課主幹 7億を超えることはない。

石田清廉委員 6、7月に比べ患者数が減っているが原因は何か。

和氣病院局総務課主幹 8月から11月は例年患者数が少ない。

矢田松夫副委員長 待ち時間が長いのは職員が新しい機器に慣れていないからという要因もあったが、これは緩和されたのか。

山本病院局事務部次長 緩和されたと思っている。

矢田松夫副委員長 医師数、看護師数は足りているか。足りないから待ち時間

が多いのではないか。

河合病院事業管理者 現在の職員で、できるだけ努力する。

矢田松夫副委員長 非正規職員は雇用しないのか。

河合病院事業管理者 非正規職員は長く続かないし、愛社精神を持つことを期待するのも難しい。

矢田松夫副委員長 人も増やせないでサービスも低下すると良い病院が元に戻る心配がある。

河合病院事業管理者 皆と相談し、そうならないように努力する。

矢田松夫副委員長 処方箋のバーコードはどうなったか。

山本病院局事務部次長 見積りを取ったが約二千万円程度の経費が掛かる。費用対効果、患者からの要望もないため、現在導入は考えていない。

矢田松夫副委員長 市民病院だけ取り残されるのではないか。

山本病院局事務部次長 院外薬局も対応していないところが多く、現状のとおりとしたい。

吉永美子委員 入院、外来患者の診療科別の市内、市外の地区別人数が分かるか。

下瀬俊夫委員長 資料請求したほうがいいのではないか。

山本病院局事務部次長 今、資料を持っていない。市外と市内、市内であれば校区ごとに分けることは可能だと思う。

河合病院事業管理者 厚南の人は労災病院に行くのではないか。市民病院に来院されるのは際波や楠の人が多という印象。

吉永美子委員 資料があれば出してもらいたい。新病院になってからの診療科別の市外の来院の傾向等の状況を確認したい。

河合病院事業管理者 産科はかなり広い範囲から来ている印象がある。

吉永美子委員 人間ドッグ・健診への病院の取組状況はどうか。

山本病院局事務部次長 健診・ドッグでリピーターを増やすのは戦略の一環だと考えている。具体的な案については今後検討する。

岩本信子委員 さんさんネットの利用状況は。

岡原病院局医事課長 今年の6月から参照病院として参加しているが、患者から同意を取って3病院（山大、労災病院、宇部興産中央病院）の情報を閲覧したことはない。

岩本信子委員 掛かり付け医の情報を閲覧できないのか。

岡原病院局医事課長 さんさんネットを使って個人病院が持っている情報を閲覧することはできない。

吉永美子委員 健診・ドッグのリピーターを増やす工夫は何かあるか。

山本病院局事務部次長 具体的な策はまだないので、今後検討したい。

吉永美子委員 特定健診のお知らせに市民病院のチラシを同封したらどうか。

今できることはすぐにやってもらいたい。

山本病院局事務部次長 健康増進課と協議したい。

下瀬俊夫委員長 医師クラークは病院の定員に入っているのか。

山本病院局事務部次長 医師クラークは非正規職員なので、基準の対象にはならない。定員には入っていない。

下瀬俊夫委員長 予算上の入院患者数や外来患者数と比べ現状の数値が乖離している場合、予算上の数値を達成するために具体的にどのように対応するのか。予算上の数値に問題があるのか。

河合病院事業管理者 予算上の数値は目標という意味もある。努力目標という意味もあるから低く設定したくないというところもある。できるだけその目標数値に近づけないといけないと思っている。

下瀬俊夫委員長 定例会ごとに報告を求めるのは、この問題があるため。普通の病院では病床稼働率が八十数%程度ということはない。90%程度が目標ではないか。目標と現実の数値が乖離しているのは、単なる目標という思いが強いのではないか。

河合病院事業管理者 努力目標という意味だけではない。3年間の病床稼働率の推移を資料として出しているが、少しずつその目標に向かって努力している。

下瀬俊夫委員長 病院が新しくなったら患者は増えると言ってきた。予算設定の根拠となる数字に対して、どういう経営努力をしているのかが大事なのではないか。昨年と比較することに意味があるかどうか分からない。予算設定の段階と現状とを比較するほうが良いのではないかと思っている。例えば病床稼働率を上げるために入院ドッグを導入するのも経営努力ではないか。検討をお願いしたい。

河合病院事業管理者 検討していないというわけではない。気持ちの中にはあるが患者が多く、現状に追われているのが実情である。

下瀬俊夫委員長 地域別の入院患者数、他の病院からの転院患者の資料を出していただきたい。

山本病院局事務部次長 詳しい数値は持っていないが紹介率は大体25%。その全て入院患者ではないが30%には届いていない。正式には資料提出したい。

下瀬俊夫委員長 市民病院の情報を地域の医療機関と共有することが地域医療のネットワークを作る上で重要だと考えている。さんさんネットの3拠点病院ではなく市民病院も含めた4拠点病院になるよう考えてもらいたい。

河合病院事業管理者 当初4病院にするように県にお願いし努力したが実現しなかった。県との関係を考えると今はその話をするべきではないと考え

ている。

岩本信子委員 時間外診療の実績が4,000人ぐらいと聞いているが、今も多いのか。

河合病院事業管理者 特に減ってはいない。

山本病院局事務部次長 二次救急の当番日が昨年の33日から38日に増えているので、今年度はさらに増えるのではないかと考えている。

## 2 閉会中の継続調査事項について

### 【議事の概要】

下記事項について3月定例会まで継続して調査することを委員全員賛成で決定した。

- ・国民健康保険及び国民年金に関すること。
- ・介護保険に関すること。
- ・在宅介護者支援に関すること。
- ・保健衛生に関すること。
- ・保育所に関すること。
- ・病院経営に関すること。
- ・包括地域医療に関すること。
- ・人権・男女共同参画に関すること。
- ・火葬場整備事業に関すること。
- ・空き家等の適正管理について
- ・子育て支援を中心に結婚や出産をしやすくなる環境整備に関すること。

平成27年12月16日

民生福祉常任委員会委員長 下 瀬 俊 夫